

平成28年3月ダイヤ改正の提案を受ける

中央本部は本日12時15分より、平成28年3月ダイヤ改正について提案を受けました。主な内容は以下の通りです。(詳細は別紙参照)

《平成28年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ① 関東～関西間におけるオーダーメイド列車新設
- ② 関東～九州間列車輸送力再編
- ③ 東海・金沢～九州間及び新潟～広島間の輸送力増強
- ④ 採算性の低い列車の輸送改善(廃止・運転区間変更)
- ⑤ 北海道新幹線開業に伴う青函共用走行開始

2. 車扱輸送

- ① 150mレール輸送の拡大(JR東日本・西日本向け)

3. その他

- ① EF510形式山陽線乗り入れ列車の拡大
- ② EH500運用範囲見直しに伴う黒磯駅での機関車交換作業の廃止

4. 列車計画の規模

列車キロは現行と比べ、1日あたりコンテナ列車が約800kmの減、車扱列車については改正前と変更がないため、合計800kmの減となります。

5. ダイヤ改正日 平成28年3月26日(土曜日)

提案を受けるにあたり中央本部は「次期ダイヤ改正は鉄道事業部門の黒字化に向けた重要なものとなるが、これまでの施策によって職場のモチベーションは低下している。JR貨物の将来を見据える上で、この難局を誰と乗り切るのかを明確にすること。安全確立を基本とした業務体系の構築は会社の責任である。今後、申し入れに基づき団体交渉を行なうので、真摯に応えること。また、地本一支社間での議論結果について会社は尊重すること。」を主張しました。

これに対し会社は「今ダイヤ改正は中期経営計画の最終年度における鉄道事業部門の黒字化に向けた最終ステップとなる重要なダイヤ改正となる。今後内容について議論していくこととなるが、真摯に議論を行なっていきたい。」との考え方を明らかにしました。

中央本部は今後申し入れを行い、①安全・健康・ゆとりを担保した業務体制の構築。②各職場で深刻化する要員問題に対する具体策。③収入拡大に向けた具体策。④災害発生時における危機管理体制の充実。⑤検修基地の要員配置基準の明確化。⑥北海道新幹線開業に伴う共用走行に対する安全確立に向けた取組み。更にORS見直し施策も検討されており、JR貨物労連組合員の雇用と生活を確保することを目指して取り組むこととします。あわせて各地方から出された問題点・課題の解決について連携して取り組みます。

以上